



令和元年11月15日
発行者：佐喜真吉乃

朝夕と気温もさがり、季節の変わりを感じます。子どもたちは、来る発表会に向けて楽しみながら練習に取り組んでいます。ゆうわ認定こども園では発表会の遊戯やオペレッタ・劇を、保育教諭が見本で演じたものを見て自分が一番やってみたいものを子どもたち自身で決めています。

配役をする中で、役の偏りが出てしまったときには、保育教諭もまじえ、みなで話し合いをして役を決めていきました。一人ひとりが自分で決めた役になりきり、年中・年長児の励ましや援助を受けながら表現遊びを楽しんでいます。本番は緊張もみられると思いますが、温かい応援と見守りをよろしくお願い致します。

なごみチーム

最近は見晴台のはしご上りやフラフープ、うんてい棒に挑戦するようになってきました。

先月の出来事。ある子が保育教諭に誘われてうんてい棒に挑戦しました。最初は保育教諭がお尻を支えていましたが、何度か練習すると、次は自分の力で2本前に進むことができました。すると、周りで見ていた4歳児クラスの子たちが「すごーい！」と拍手をして一緒に喜んでいました。頑張って出来たことを一緒に共感できる場面を見てとても温かい気持ちになりました。これからできる事が増え、それに自信が繋がり色々な事に挑戦できるようになるといいなと思います。



きらりチーム

10月からランチルームでの配膳をお膳で配膳する関わりを始めました。

最初は、「危ない、気をつけて」とそろり、そろりゆっくり配膳していたのが、いまではこぼさずしっかりと足取りで配膳することができるようになりました。

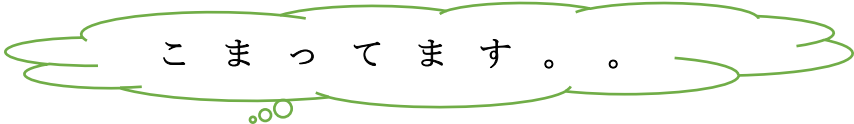
こぼしても大丈夫。自分で雑巾、塵取りをとりいき掃除をする姿に成長を感じます。

園では、30分の時間を決め時計を見ながら食事を進めていけるよう声掛けをし、関わっています。だらだら食べは、イライラもつのも、せっかくおいしいご飯も冷めておいしくなくなってしまいます。ご家庭でも机に時計をおき、時間を見ながら楽しく食事をすすめてみてください。



♪今月の歌と手遊び♪

♪ 一人の手 ♪こーじゃんまぐわあみはっは 手話ソング♪あの青いそらのように



園庭あそびの際「先生、帽子かしてください」と声をかけられることが多いです。園では貸し出し用の帽子も多く準備していますが、多くが貸し出した後、もどってきていないのが現状です。

帽子は強い日差しから頭を守るだけでなく、頭をケガから守る役割もあります。まだまだ日中は強い日差しが続いています。代用でタオルを巻いては危険も伴うため、毎日帽子は園にもたせていただくとありがたいです。子どもたちにも自分で準備をすすめていけるよう声掛けの関わりを続けていきます。